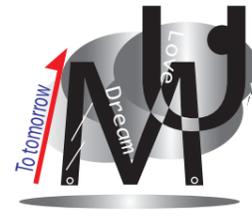


上田まさや活動報告

みんなでつくろう！刈谷の未来・子どもの未来



上田まさや | 検索

since2011
masaya70@gmail.com

刈谷城復元に30億円を止めて！人、そして子どもの未来へ税の再配分を！

上田まさやは刈谷市政3期目を務めさせて頂くことになりました。子どもたちの未来にこだわって刈谷市議会で発言します。

今後の刈谷市議会で発言するテーマ

●刈谷市の子どもたちの未来について

この10年で刈谷市の子ども達の生活環境は悪化しています。母子・父子家庭は増え、不登校の子ども増え、子どもへの虐待件数が増えています。子ども達の経済的・精神的な格差が広がりました。子育て支援や子どもの居場所作りが必要です。

一般質問映像は | で検索

※映像がスマホ対応になりました。

子育て支援

- 高校生の医療費無料
- 給食の第3子以降無料
- 給付型の奨学金制度
- 幼児2人同乗自転車購入補助金の復活
- 出産祝いクーポンの配布等

子どもの居場所作り

- 子ども食堂ほっとライス毎月開催
- 食事・工作・演奏



●刈谷城一部復元30億円について是非を問う！

法人市民税の割合引き下げ！

法人市民税一部国税化の流れ

平成26年10月 12.3%から9.7%へ
 令和元年10月 9.7%から6.0%へ
 平成28年度法人市民税 49億8000万円

↓
 平成29年度法人市民税 29億

刈谷市の財政は非常に厳しいものとなります。法人市民税は法律の改正や円高基調で目減りします。また、刈谷市は長期にわたって税金を納めて頂けるファミリー層の転出が止まりません。社会保障費や老朽化に伴う公共施設・社会インフラの維持管理費、ゴミ処理費の増大等も懸念されます。このような状況の中で刈谷城一部復元30億円は止めるべきです！税金は人の為に使うべきです。

●買物の難民について

全国で買物難民は600万人いるとも言われています。高齢化社会になれば車の運転ができない方が増え、買物難民も増えます。刈谷では現在、民間の食品スーパーさんが移動スーパーを走らせてくださっています。移動スーパーを促進する為の政策を推し進めスーパー等生活関連施設と連結する公共の小型のコミュニティーバスを走らせさるべきです。



移動スーパー

世界の食料自給率

アメリカ	130%	カナダ	264%	フランス	127%
ドイツ	95%	スイス	51%	日本	38%

●刈谷市の農地について

facebookで | で検索

日本は食料自給率が38%しかないのに食材ロスを年間600万トン(食べれるものを廃棄している。)もおこなっています。「もったいない」という言葉がある国だとは思えません。人は食べなければ生きていけません。もっと農業を大切にしなければなりません。刈谷市は、この5年間で約24ヘクタール(1ヘクタール=約3030坪)もの農地がなくなっています。南部では営農さんががんばって農地を集約してくださっていますが、農地が失われ続けていきます。農地の大切さを啓蒙する必要があります。また、国においては、農地を守る為に農地の一部国有化も考えなければならないと思います。

刈谷市議会清風クラブ予算要望書は

一般質問映像は | で検索

|

※映像がスマホ対応になりました。

右傾化する日本

刈谷市議会議員選挙を振り返ると、共産党の3人の候補は前回の3人の候補より合わせて1700票ぐらい票を減らしていた。要因は、党員の高齢化により若い候補が擁立できない。共産党という組織が時代の流れに乗っていけない等があるが、左の組織の衰退は右傾化を促進する非常に危険である。だから選挙には若い方々は投票に行ってください。未来になって後悔しないようにして頂きたい。共産党は党名を変える気はないらしい。自らの信念と共に朽ち果てていく美学もありかもしれない。

子ども食堂 ほっとライス

子ども食堂、毎月土曜日(日にちは不定期)の午前11時半より

桜区市民館にて開催 facebookで | で検索

お問合せ masaya70@gmail.com

